

社屋に200万署名垂れ幕

札幌市

札幌市に本社がある「りんゆう観光」社屋に2月半ば、「戦争法(安全保障関連法)を止める二千万人統一署名運動」総がかり行動実行委員会との垂れ幕が掛けられました。

札幌市に本社がある「りんゆう観光」社屋には、札幌の会社経営者が2008年に結成。戦争と平和、憲法について考える講演会を毎年開いてきました。会として署名に取り組むのは「異例なこと」(植田さん)です。

同社社長の植田英隆さん(70)が世話人の一人となっている「グリーン九条の会」が、2000万署名の趣旨に賛同し、会として垂れ幕を作成。4月25日まで掲示することになったもので

す。
「グリーン九条の会」0万という目標は生半可なことで達成できる数ではない。攻勢的に頑張る必要がある。目標に接近するための努力を惜しんではだめだ」と奮い立ちました。会として、署名用紙と返信用封筒を入れて知り合いに郵送し、署名を呼びかけています。

頑張る姿に触発

「九条の会」事務局の高田健さんが「総がかり友人もいますが、まだ行動」でも頑張っている「まだ足りない」が植田さん

生半可で達成できない

観光会社社長「われらに道理、広げねば」



んの実感です。憲法を壊そうとする人たちも、「九条の会」とは逆の立場から署名活動を行っていません。「われらに道理がある。内容で負ける心配はない。しかし、自民党を支持している人もっと広げなければ、戻すほみに終わってしまう」。居ても立ってもいられない思いが「垂れ幕」という形になりました。

街の空気変える

植田さんは強調します。「共産党や民主党を応援する人だけじゃなく、自民党を支持している人もいます。自宅にポスターを張ったり、スタンプディングをしたり、でも人間」の垂れ幕に掛けることからは始めて、街替えます。

の空気を変えるくらいみんなが本気になれば、憲法を壊そうとする人たちにも必ず勝てます」

4月26日以降は、経済同友会終身幹事で全国革新懇代表世話人だった故・品川正治さんが強調した言葉「戦争を起すのも人間 戦争を止めるのも人間」の垂れ幕に掛けることからは始めて、街替えます。

りんゆう観光本社に掲げられた200万署名の垂れ幕＝札幌市